

# おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第1号

令和8年4月10日(金)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



<https://www.taito.ed.jp/1320111>

↑更新中



## 令和8年度の始まりにあたって

校長 福沢俊之

6日(月)には、転入の教職員を紹介する着任式、令和8年度始業式を行いました。翌7日(火)には、あいにくの曇り空でしたが、114名(4学級)の新入生を迎えての入学式を行い、2年生105名(3学級)、3年生129名(4学級)、計348名(11学級)で新年度が始まりました。

それぞれのご家庭にも、お子様に「こんな人になってほしい」という教育方針や願いがあるように、学校にもどんな学校にしていくか、生徒をどのような人に育てていくか、といった教育目標や学校経営方針があります。毎年、大きく変わることはありませんが、節目を迎えるごとに確認をしています。

### 《御徒町台東中学校 教育目標》

健全な心と体を備え、自主性、社会性に富み、21世紀の社会に貢献できる人を育成する

・考えて行動できる人 ・思いやりのあるやさしい人 ・たくましく生きる人

普遍的な人物像であると思いますが、今の時代、それぞれどのような人を思い浮かべるでしょうか。例えば、…

#### ○考えて行動できる人

「人間は考える葦である」。私が子どものころ、よく聞いていた言葉です。「人間は自然の中では弱い一本の葦のような存在だが、頭を使って考えることができる。考えることこそ人間に与えられた偉大な力である。」という意味は、情報があふれ変化の激しい不透明な今の時代にこそ忘れてはならない言葉です。毎日の授業はもとより、日々のいろいろな活動の中で、「考える」ことを大切にしていきます。

#### ○思いやりのあるやさしい人

「思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える」。相手を思う気持ちは、「思いやり」という行為になってはじめて意味がある、それができる人が「やさしい人」だということです。思いやりを育むためには、「相手の立場に立って考える習慣をつけること」「日常生活の中で小さな気配りを実践すること」です。日々の人とのかかわりの中で、「ありがとう」という言葉が言えたとすれば、それは他者の思いやりに気付いた証です。多いほど自分にも思いやりの心が育まれていくことと思います。

#### ○たくましく生きる人

「健康であれ」。早寝、早起き、そして食事をしっかり摂って、よい生活習慣を身につけることが肝要です。真の健康とは、自分を甘やかさない生活態度、自らを律すること(自律)で培われていくものです。一方、「自立とは依存先を増やすこと」(熊谷晋一郎氏)という言葉があります。「何にも依存していない」と感じられるくらい依存先を増やすことができれば、それも「たくましい」といえるのかもしれませんが。何にも頼らず一人で生きている人はいないのだから、辛いときや困ったときに一人で抱えないで相談しましょう。

これまで大切にしてきた御徒町台東中学校の校風を受け継ぎ、先輩がその背中で後輩を育てていける、そのような好循環のある学校にしていきたいと思っています。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。